

## 飯田高等学校々歌

福沢悦三郎 詞  
井出 茂太 曲

一、

赤石山は巍々として我が南信の骨を成し  
天竜川は透迤として我が伊那郡の血を成せり  
千余の学徒怠らずこの大沢の唯中に  
或は学び或は馳せ竜蛇の意気を鍛えばや

二、

春今宮の桜花心を花に修めつつ  
夏風越の青嵐眼を文にさらしつつ  
長姫城の秋の月理想を高く掲げつつ  
時松川の冬の雪清き操を養はん

三、

遊惰の世より抜け出でて骨ある儒者の名を得たる  
太宰春台先生は昔この地に生れたり  
佞諛の俗を退けて血ある女と謳はれし  
山口阿藤その人も亦この中に育ちたり

四、

ああ白雲の谷深く都の塵も通ひ来ぬ  
この山川のうちにこそ誠の丈夫出づるなれ  
操守は堅く意気猛く世の風潮と戦ひて  
理想は高く知慮深く精華を揚げん美をなさん

※透迤／うねうねと長く続くさま